令和８年度 第２回甲賀市下水道審議会　次　第

日　時：令和８年１０月２８日（水）
午後１時３０分から
場　所：甲賀市役所　別館２階会議室２０１

１．開　　会

２．あいさつ

３．概要説明
（１）土山オー・デュ・ブールの概要
（２）甲賀市農業集落排水の概要
（３）下水道（開削）工事の流れ
（４）農業集落排水神保隠岐地区 公共下水道接続工事 計画

４．施設視察
（１）土山オー・デュ・ブール（公共下水道終末処理場）
（２）神保隠岐地区農業集落排水処理施設
公共下水道接続工事予定箇所（隠岐～葛木）

５．閉　　会

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に　　あなたも仲間
いろどる山河と　　生きいき文化
こぼれる笑顔に　　応える安心
うみだす活力　　受けつぐ伝統
かがやく未来に　　鹿深の夢を

下水道審議会　施設視察 行程(R8.10.28)

	時間			所要時間(分)	概要
1.	13:30	～	14:00	30	市役所 参集（別館２０１） 【概要説明】
		移動		15	
2.	14:15	～	15:15	60	土山町大野 地先 土山オー・デュ・ブール（公共下水道終末処理場） 【施設内の見学】
		移動		15	
3.	15:30	～	16:00	25	甲賀町隠岐・甲南町葛木 地先 神保隠岐地区農業集落排水処理施設 公共下水道接続工事予定箇所（隠岐～葛木） 【車中から見学】
		移動		20	
4.	16:15	～	16:30		市役所 到着（別館２０１） 【講評・散会】

◆配車

車両		運転	同乗者		
１号車	セレナ17	中川係長	西田部長	的場会長	藤田委員
車番	ね 7679			藤本委員	
２号車	シエンタ	岩田補佐	山中次長	金森副会長	本松委員
車番	そ　5261				
３号車	セレナ20	吉川係長	門坂課長	青木委員	市井委員
車番	ふ　624			奥山委員	波多野委員

※ １号車　→　２号車　→　３号車　の順番で出発

令和８年10月28日
下水道審議会資料

下水道（開削）工事の流れ

【工事施工順序】

１．準備工
- ①測量
- ②汚水ますの位置確認
- ③地下埋設物等調査
- ④家屋調査

↓

２．開削工
- ①舗装切断工
- ②舗装撤去、掘削及び土留支保工設置
- ③管布設工
- ④マンホール工
- ⑤埋戻し及び土留支保工撤去
- ⑥舗装仮復旧工

※上水道仮設配管完了後

↓

３．取付管及びます工
- ①舗装撤去、掘削
- ②取付管布設工
- ③ます工
- ④埋戻し
- ⑤舗装仮復旧工

↓

４．マンホール工
- ①ｲﾝﾊﾞｰﾄ工

↓

５．後片付け
- ①管清掃
- ②後片付け

２．開削工（管布設工）

①舗装切断工

・全区間の管布設、汚水ます設置箇所の舗装を切断します。



舗装切断

②舗装撤去、掘削及び土留支保工設置

・舗装撤去後、管布設位置に土留支保工を設置しながら掘削します。
（土留支保工は掘削深さ1.5m以上の場合に設置します。）



舗装撤去・掘削



土留工設置

③管布設工

・掘削完了後、塩ビ管を布設します。



本管布設



管材（リブ付硬質塩化ビニル管L=4000mm）



信楽町長野地区の状況（R8.10月撮影）

④マンホール工

・組立マンホール、塩ビ製マンホールを設置します。



組立マンホール



塩ビ製マンホール

⑤埋戻し及び土留支保工撤去

・管布設、マンホール設置完了後、埋戻しながら土留支保工を撤去し、
路盤工を施工します。
※１日当たりの施工量は15～30m程度です。



埋戻し



路盤工

⑥舗装仮復旧工

・舗装の仮復旧を行います。

３．取付管及びます工

①舗装撤去、掘削

・舗装撤去後、取付管布設・汚水ます設置位置を掘削します。

②取付管布設工

・掘削完了後、塩ビ管(L=800mm)を布設します。

③ます工

・汚水ますを設置します。



取付管布設



汚水ます設置

④埋戻し

・管布設、汚水ます設置完了後、埋戻します。

⑤舗装仮復旧工

・舗装の仮復旧を行います。

４．マンホール工

①インバート工

・排水中の汚物を停留させずスムーズに流すため、マンホール内を左官仕上げします。



５．後片付け

①管清掃

・布設した管の内部を高圧洗浄車を用いて清掃します。

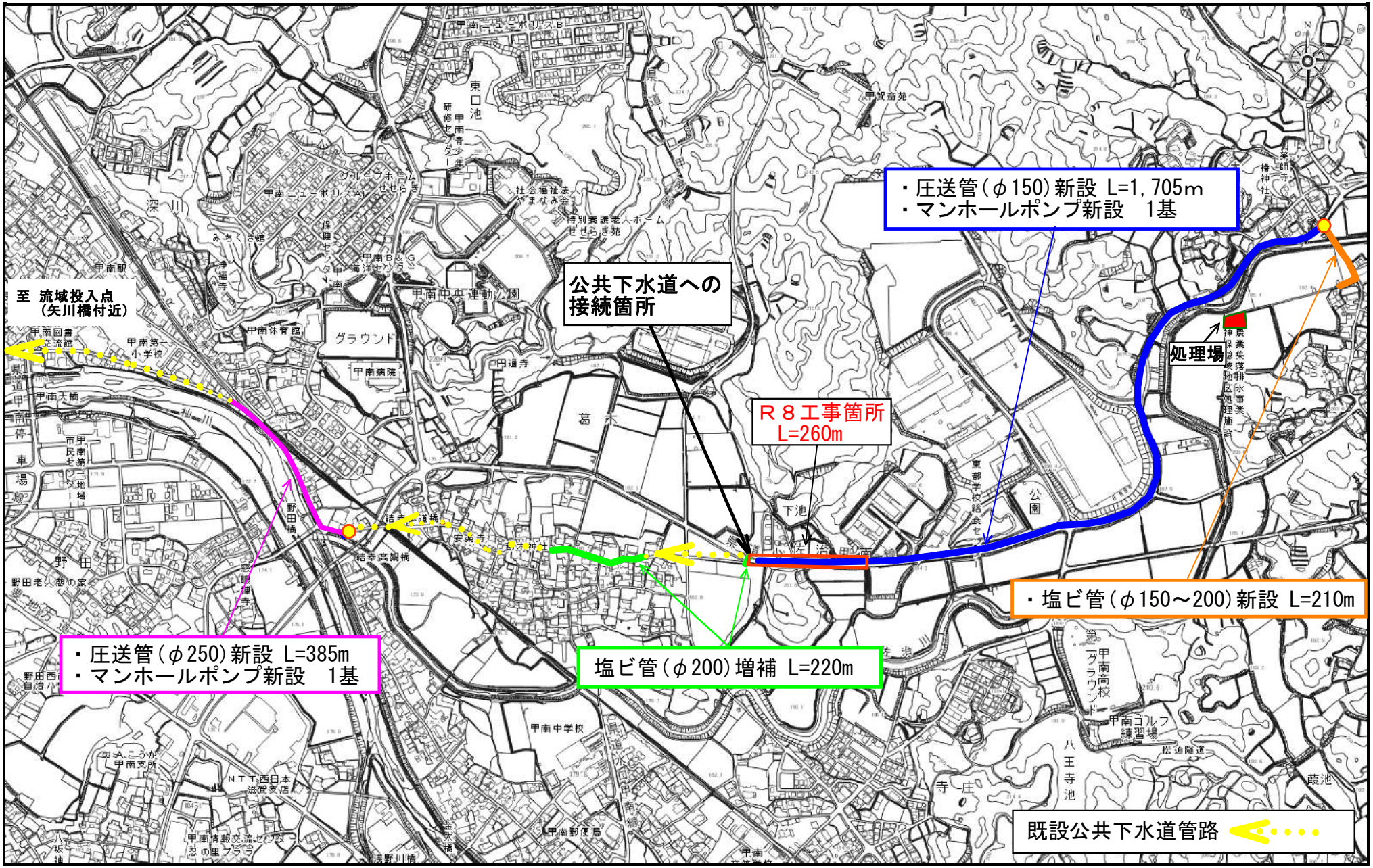


②後片付け

・全工区間の後片付けを行い、全ての工事を完了します。

令和8年10月28日
下水道審議会資料

農業集落排水神保隠岐地区　公共下水道接続工事　計画



令和８年10月28日
下水道審議会資料

甲賀市農業集落排水の概要

処理場名	和野嶬峨地区 農業集落排水処理施設	貴生川地区 農業集落排水処理施設	飯道寺地区 農業集落排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市水口町嶬峨3011番地1	甲賀市水口町牛飼2298番地	甲賀市水口町高山497番地497番地1
計画日最大汚水量	318 m3／日	426 m3／日	402 m3／日
処理方式	浮遊生物法 連続流入間欠ばっ気方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式
供用開始日	平成3年11月1日	平成6年9月1日	平成8年11月1日
放流先	野洲川→琵琶湖	杣川→野洲川→琵琶湖	杣川→野洲川→琵琶湖

公共下水道接続（R2.4.1）

公共下水道接続（R3.4.1）

処理場名	八田春日地区 農業集落排水処理施設	中畑地区 農業集落排水処理施設	今郷地区 農業集落排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市水口町春日2012番地3	甲賀市水口町中畑1203番地	甲賀市水口町今郷720番地1
計画日最大汚水量	282 m3／日	66 m3／日	144 m3／日
処理方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 間欠ばっ気方式	浮遊生物法 間欠ばっ気方式
供用開始日	平成9年7月1日	平成10年8月1日	平成10年11月1日
放流先	坊谷川→思川→野洲川→琵琶湖	山川→野洲川→琵琶湖	野洲川→琵琶湖

公共下水道接続（R6.4.1）

処理場名	大河原地区 農業集落排水処理施設	鮎河地区 農業集落排水処理施設	山女原地区 農業集落排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市土山町大河原1290番地	甲賀市土山町鮎河3141番地	甲賀市土山町山女原741番地1
計画日最大汚水量	120 m3／日	225 m3／日	39 m3／日
処理方式	生物膜法 接触ばっ気（活性汚泥併用）方式	浮遊生物法 連続流入間欠ばっ気方式	浮遊生物法 長時間ばっ気方式
供用開始日	昭和62年4月1日	平成1年4月1日	平成4年8月1日
放流先	野洲川→琵琶湖	野洲川→琵琶湖	笹路川→田村川→野洲川→琵琶湖

甲賀市農業集落排水の概要

処理場名	山内地区 農業集落排水処理施設	大沢地区 農業集落排水処理施設	高嶺地区 農業集落家庭排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市土山町猪鼻417番地	甲賀市土山町大澤552番地	甲賀市甲賀町高嶺711番地
計画日最大汚水量	549 m3／日	33 m3／日	69 m3／日
処理方式	浮遊生物法 オキシデーションディッチ方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 間欠ばっ気方式
供用開始日	平成7年12月1日	平成8年7月1日	昭和59年12月1日
放流先	田村川→野洲川→琵琶湖	大澤川→野洲川→琵琶湖	和田川→杣川→野洲川→琵琶湖

処理場名	櫟野地区 農業集落家庭排水処理施設	岩室地区 農業集落家庭排水処理施設	神保隠岐地区 農業集落家庭排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市甲賀町櫟野2103番地2	甲賀市甲賀町岩室2222番地	甲賀市甲賀町隠岐2849番地
計画日最大汚水量	147 m3／日	210 m3／日	309 m3／日
処理方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式
供用開始日	平成2年7月2日	平成3年12月1日	平成5年7月1日
放流先	櫟野川→杣川→野洲川→琵琶湖	岩室川→野洲川→琵琶湖	佐治川→杣川→野洲川→琵琶湖

処理場名	和田地区 農業集落家庭排水処理施設	五反田地区 農業集落家庭排水処理施設	小佐治地区 農業集落家庭排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市甲賀町和田1246番地	甲賀市甲賀町五反田1205番地7	甲賀市甲賀町小佐治4143番地2
計画日最大汚水量	117 m3／日	150 m3／日	285 m3／日
処理方式	浮遊生物法 間欠ばっ気方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式
供用開始日	平成6年7月1日	平成6年4月1日	平成7年7月1日
放流先	和田川→杣川→野洲川→琵琶湖	和田川→杣川→野洲川→琵琶湖	佐治川→杣川→野洲川→琵琶湖

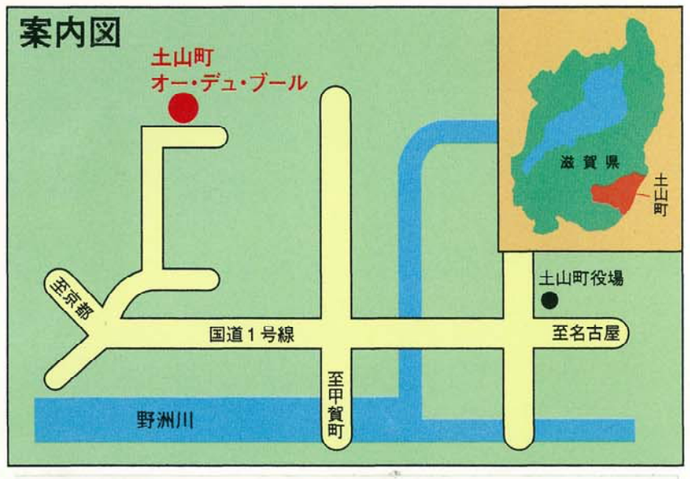
甲賀市農業集落排水の概要

処理場名	唐戸川地区 農業集落家庭排水処理施設	稗谷地区 農業集落排水処理施設	宮地区 農業集落排水処理施設
施設外観			
所在地	甲賀市甲賀町神301番地	甲賀市甲南町稗谷2884番地	甲賀市甲南町柑子1858番地1
計画日最大汚水量	27 m3／日	66 m3／日	384 m3／日
処理方式	浮遊生物法 間欠ばっ気方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式
供用開始日	平成8年7月11日	平成5年8月1日	平成5年8月1日
放流先	唐戸川→田村川→野洲川→琵琶湖	稗谷川→野洲川→琵琶湖	浅野川→杣川→野洲川→琵琶湖

公共下水道接続
（R8.4.1）

処理場名	磯尾地区 農業集落排水処理施設	宮町地区 農業集落排水処理施設	畑水と土循環施設
施設外観			
所在地	甲賀市甲南町竜法師1973番地2	甲賀市信楽町宮町1347番地2	甲賀市信楽町畑94番地1
計画日最大汚水量	135 m3／日	153 m3／日	33 m3／日
処理方式	浮遊生物法 回分式活性汚泥方式	浮遊生物法 間欠ばっ気方式	浮遊生物法 膜分離活性汚泥方式
供用開始日	平成8年10月1日	平成12年5月1日	平成14年12月1日
放流先	磯尾川→杣川→野洲川→琵琶湖	馬門川→大戸川→瀬田川→宇治川→海	田代川→大戸川→瀬田川→宇治川→淀川→海

処理場名	朝宮地区 農業集落排水処理施設
施設外観	
所在地	甲賀市信楽町宮尻1185番地
計画日最大汚水量	383 m3／日
処理方式	浮遊生物法 連続流入間欠ばっ気方式
供用開始日	平成25年6月1日
放流先	信楽川→瀬田川→宇治川→淀川→海



甲賀市土山オー･デュ･ブール
〒528-0235 滋賀県甲賀市土山町大野５５７８番地
TEL：0748-67-1401 FAX:0748-67-1385

土山町特定環境保全公共下水道事業

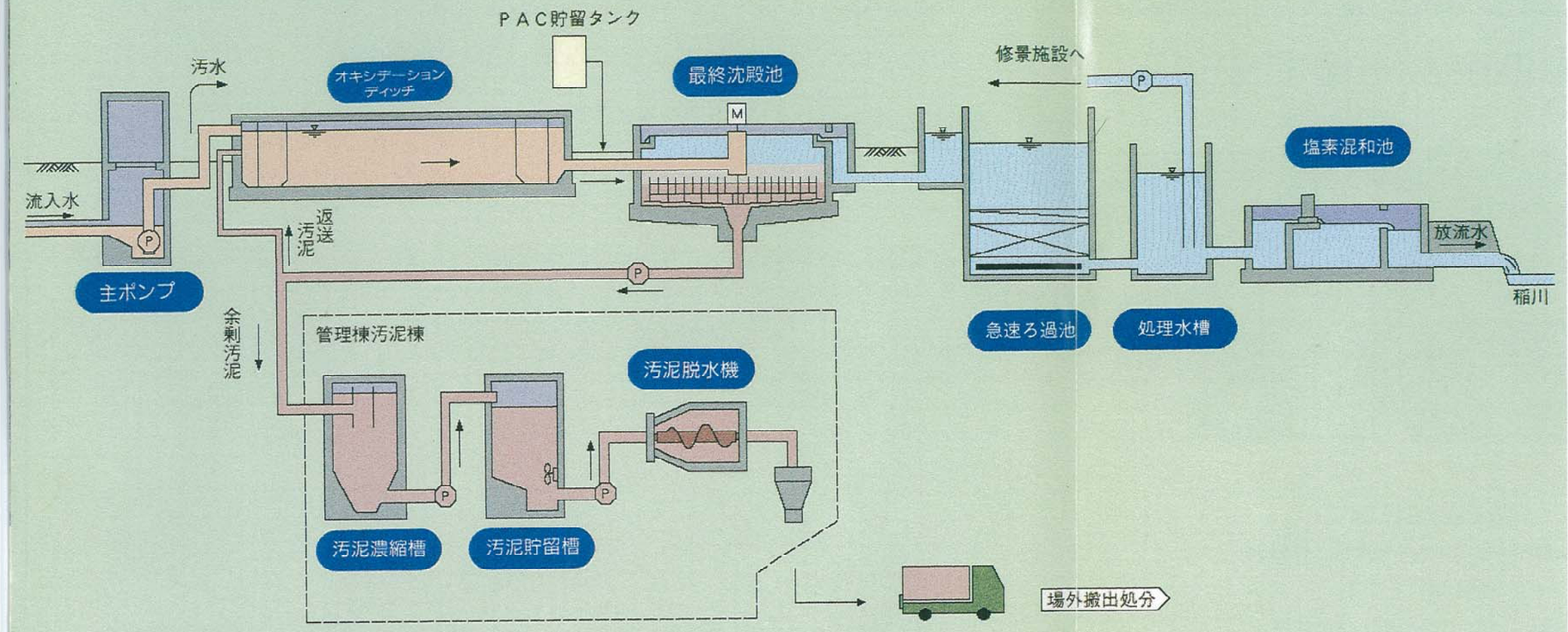
くらしの水の文化園

甲賀市土山オー･デュ･ブール

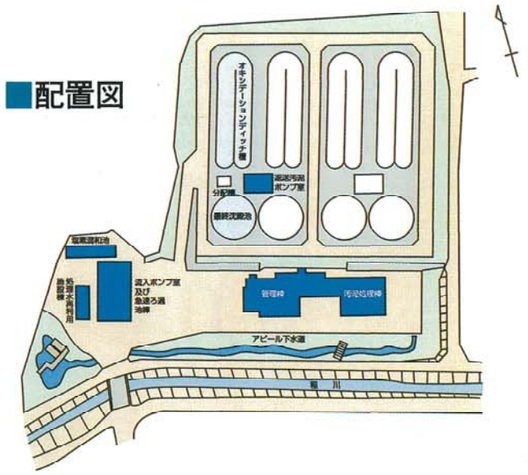


滋賀県甲賀市

甲賀市土山オー・デュ・ブール処理フロー



■配置図





【汚泥脱水機】

汚泥は薬品添加後脱水機で水分を減らし取り扱いをよくします。脱水された汚泥を脱水ケーキといいます。



【オキシデーションディッチ】

この池では、汚水に活性汚泥を加え、空気を吹き込みばっ気します。この間に微生物は汚水中の汚物を食物として繁殖し、汚物はふわふわした海綿状になって沈殿しやすい状態にします。



【最終沈殿池】

海綿状になった活性汚泥は池の底に沈み、きれいな上澄水は塩素混和池に送ります。沈殿した活性汚泥は、オキシデーションディッチへ返送汚泥として繰り返し使用します。余った汚泥は余剰汚泥といい、汚泥濃縮設備へ送られます。

■オー・デュ・ブールの概要

名称		甲賀市土山オー・デュ・ブール
所在地		甲賀市土山町大野５５７４番地
敷地面積		１６２．０　ａ
計画処理面積		４４４．５　ｈａ
計画処理人口		６，７００　人
処理方式		オキシデーションディッチ法　＋　急速ろ過法
計画汚水量	日平均	３，４０４　㎥／日
	日最大	４，１９９　㎥／日
	時間最大	９，９２３　㎥／日
放流水質の数値		(BOD 10)　(COD 10)　(SS 6)　(T-N 15)　(T-P 0.5)
放流先		一級河川　稲川

■施設の概要

施設名	認可計画施設数	全体計画施設数
管理本館	１棟	１棟
オキシデーションディッチ槽	２棟	３棟
返送汚泥ポンプ室	１棟	２棟
最終沈殿池	２池	３池
汚泥処理棟	１棟	１棟
流入ポンプ室及び急速ろ過池棟	１棟	１棟
処理水再利用施設棟	１棟	１棟
塩素混和池	１池	１池
汚泥濃縮タンク	１基	２基
汚泥脱水機	１台	１台
脱臭機	１台	１台